

滋賀県議会議員

まなぶ

Kunori Manabu Report

令和5年
新春号

VOL.48

くらしのご相談やご意見など FB(フェイスブック)日々更新中
ございましたらお気軽に <https://kunori-try.jp>

くのり学事務所へ

TEL077-558-1809/FAX077-558-0665
E-mail:8313@kunori-try.jp

ホームページ

みてね!!

イメージキャラクター
くのり

くのり学レポート

(事務所・自宅)〒520-3001 滋賀県栗東市東坂409-3

(発行責任者/九里学・編集責任者/米津 進)



クリーンで身近なひらかれた県政のため

地道に!! 颯と!!

県民市民とともに!!

九里学

令和五年一月吉日

滋賀県議会議員

皆様方には 健やかに希望に満ちた初春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。多くの県民市民の皆様のおかげで滋賀県議会議員としてコロナ禍に負けずお正月を迎えさせていただくことができました。「己を忘れて他を利する」ことの大切さを胸に『どぶ板は力なり、手柄は足にあり』を信念に現場第一主義で活動してまいります。本年もどうぞよろしく お願い致します



県スポーツ大使 近藤寛子さんと日向山登山(令和5年元朝)



衆議院議員時代7年。知事時代9年。三日月知事と共に活動して早や16年。

【役職】 ・前滋賀県監査委員 ・土木交通・警察・企業常任委員会委員 ・公共交通・国スポ・障スポ大会対策特別委員会委員 ・決算特別委員会委員 ・滋賀県ラグビーフットボール協会副会長 ・滋賀県スポーツ振興議員連盟副代表
・栗東柔道スポーツ少名譽会長 ・栗東市卓球協会会長 ・栗東都市整備株式会社相談役 ・栗東音楽振興会[R.I.S.S.]顧問 他

くのり学 新春年賀会 開催中止のお知らせ



(2020年1月5日の年賀会の様子)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2023年(令和5年)の新春年賀会はやむなく昨年に続き開催中止とさせていただきますことになりました。日頃よりご指導ご鞭撻いただきありがとうございます皆様のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、ご理解の程よろしくお願い致します。(拝)

15年間、県民市民さんとともに 現場第一主義で活動しました



栗東市民さんお一人おひとりの小さな声を聴き、滋賀県にお届けするのが大切な議員の役割



県内養護学校の施設整備充実のために尽力する(湖南市)



栗東市消防法披露会で女性消防団(マロンファーストレディース)の方々を激励する



九里学 くのり 写真 レポート

令和4年1月~
令和5年1月



知事・副知事へ県監査委員として結果報告と是正勧告を求める(県庁)



令和5年度に向けて県施策や予算を執行部に強く要望する(県庁)



地域の方々と70m走を2回全力疾走!!(綿)



県内養護学校の施設整備充実のために尽力する(湖南市)



幹線道路から生活道路まで市民さんの要望に沿って県市の方々と注力スピードをあげ対応する(上砥山)



県監査委員として河川・道路・橋梁砂防工事を現場確認(下戸山)



栗東市出初式で消防団を激励する(さきら)



栗東市成人式で新成人に激励の挨拶をおくる(さきら)



小平井県営住宅工事進む



県道(美之郷)舗道工事・山の手幹線(上砥山)工事を進める



三大字地先(金勝学区)



御園・山入・辻越地先(金勝小前)



坊袋・目川・岡・新屋敷地先(平地化に向け完了した金勝川)(治田学区)



下戸山~上砥山地先(治田東学区)

気候変動による災害の大規模化に對し事前の備えのために栗東の河川改修に尽力する(市内全域)



三日月知事選挙で応援する(栗東市内)



【第72回全国植樹祭しが2022】式典に参加する(甲賀市)



今も草津・栗東・守山・手原のJR各駅で朝の県政報告を継続



暑さ寒さに負けず16年目を迎える駅での「県政報告」(JR栗東・手原・草津・守山駅)(年中)



近江高山田投手と共に



栗東市内各交差点で朝のご挨拶(年中)



チームしが 県議団

— 会派ニュース —

2023年1月/第33号

#33

発行責任者/今江 政彦
編集責任者/大橋 通伸



チームしが 県議団 〒520-8577 大津市京町4丁目1-1県庁本館2階 TEL / 077-528-4035 FAX / 077-510-6520 MAIL / info@knw.jp

11月定例会議 代表質問

滋 賀県議会11月定例会議における我が会派「チームしが県議団」の代表質問(抜粋)をお届けします。本県をとりまく厳しい情勢…恒久平和、気候変動、自然災害、人口減少、経済危機、格差拡大、財政事情など、これらの不安を乗り越え、「未来へと幸せが続く滋賀」を実現するため、時代の要請や県民の声を背に受けて質問しました。当日12月2日は、「チームしが県議団」を代表して、塚本茂樹が登壇しました。



質問動画



答弁動画

動画も是非
ご覧ください

Q メタバースは、インターネット上に存在する「3次元仮想空間」を指します。ユーザーが自身のアバターを操作することで、コミュニケーションを取ったり、ビジネスに使えたりと、今後に期待されています。行政分野におけるメタバース活用の可能性、加えて、今後の取り組みについて見解を伺います。

A 国土交通省では、現実世界をサイバー空間に仮想モデルとして構築し、都市計画、街づくり、防災でのシミュレーションなどの取組を進めており、行政分野においても活用できる可能性があります。

現在、国のメタバースの利活用に関する研究会において、ユーザーにとって、より分かりやすく、利用しやすいサービスの実現に向けて、課題の整理が行われています。本県も、メタバースの特性を踏まえながら、どのように活用をしていくのか、しっかりと考えてまいります。

Q 産後1年以内の初産婦の女性の心の状態は、5割以上が産後うつハイリスク者、約3割が育児不安ハイリスク者と言われています。産みたいと思える安全・安心で多様な出産環境を確保するための今後の取り組み、切れ目のない継続的なケアの取り組みについて伺います。

A 人材につきましては、今年度新たに創設いたしました貸付金制度の活用などにより産婦人科医の確保に努めます。また、助産師の役割も含め、地域ごとに、関係者との議論を十分に重ねながら検討を進めます。

切れ目のない支援につきましては、各市町の子育て世代包括支援センターにおきまして、妊娠届出時や新生児訪問等の面談を通して、妊娠期から子育て期の状況を把握したうえで、個々の状況に応じた支援プランを策定し、必要な助言や保健指導を実施します。産婦健診につきましては、取組が全県に広げられるよう、県で集合契約を結ぶなど、産後も安心な体制整備に努めてまいります。

Q 原材料費などが上がった分は価格に反映させるのが本来であり、事業者が価格に、かかったコストを適切に反映できる状況をつくっていくことが、経済の好循環に欠かせないと考えます。民間企業の価格転嫁の状況にかかる県の認識と、それが可能となる環境づくりに向けた考えを伺います。

A 県が実施する景況調査によりますと、コスト上昇に対して「50%以上価格転嫁ができています」と回答した企業の割合は全体の約3割にとどまっております。価格転嫁が進まない理由として、「競合他社との価格競争」でありますとか「値上げ後の売上減少への懸念」などの声をお聞きしているところであります。

国による総合的な対策の着実な実施を求めながら、本県といたしましては、引き続き、多様な資金繰り支援や県内消費の喚起、未来を見据えた投資の促進などをしっかり進め、経済団体とも連携いたしまして、価格転嫁しやすい環境づくりを推進してまいります。

代表質問の要旨

- 滋賀県の行政経営について
- 文化とスポーツの振興について
- 琵琶湖と森林への政策について
- 新型コロナウイルス感染症について
- 子どもを産み育てる環境の整備について
- 雇用・経済政策について
- 観光振興について
- みどりの食料政策について
- 教員の働き方改革について
- 児童生徒の問題行動・不登校について



代表質問に立つ
塚本茂樹議員



角田航也
米原市

塚本茂樹
湖南市

江畑弥八郎
彦根市・犬上郡

大橋通伸
長浜市

富波義明
野洲市

山本 正
草津市

河井昭成
大津市

成田政隆
大津市

小川泰江
守山市

佐口佳恵
大津市

田中松太郎
甲賀市

今江政彦
近江八幡市・竜王町

三日月大造
滋賀県知事

中沢啓子
彦根市・犬上郡

九里 学
栗東市

「チームしが県議団」から三日月知事への「提言」

令和5年度の予算編成に向けて、新型コロナウイルス感染拡大や物価高騰で苦しむ県民や事業所、農家など、皆様のご要望に応えるべく「提言」しました。議会開催中の12月12日、知事室にて。